

地業工事
1. 砂・砂利・割ぐり・捨てコンクリート地業
2. 既製コンクリートぐい地業・鋼ぐい地業
3. 場所打ちコンクリートぐい地業
4. 特記により行う施工試験
鉄筋コンクリート工事
1. コンクリートの仕様
2. コンクリートの材料
3. 鉄筋・溶接金網
4. 型わく
5. 化粧打放しコンクリート
6. プレストレストコンクリート
鉄骨工事
1. 材料
2. 高力ボルト
3. 溶接工の技量検定付加試験
4. 溶接部の製品検査
5. 防錆塗装
土質柱状図
調査会社名: 基礎地盤コンサルタンツ株式会社

名古屋市建築局 殿

名古屋国際会議場第2期整備地盤調査委託
報 告 書

平成3年9月

担 当 者

主任技術者 山 田 敬



東建地質調査株式会社名古屋支店

名古屋市南区笠寺町字迫間9番地の2

TEL 052-824-1531 (代表)

支店長 篠 田 正 雄



1 調 査 概 要

本報告書は名古屋市建築局の御発注により、東建地質調査株式会社が実施した「名古屋国際会議場第2期整備地盤調査委託」の調査結果をまとめたものである。

本調査は、名古屋国際会議場第2期整備計画に伴い、当該地における構造物の設計、施工に必要な地盤資料を得ることを目的としたもので、5箇所、延179mのボーリング調査を行なった。

調査は「契約書」、「名古屋国際会議場第2期整備地盤調査委託設計書」及び「地盤調査委託仕様書」に基づき、監督職員の指示等により実施した。

以下、調査概要を示す。

- 1) 調査件名 名古屋国際会議場第2期整備地盤調査委託
- 2) 調査場所 名古屋市熱田区熱田西町1番1号
(図1-1参照)
- 3) 調査期間 自 平成3年8月28日
至 平成3年9月30日
- 4) 調査内容 ボーリング 5箇所 延179m
標準貫入試験 178回
(表1-1参照)
- 5) 調査担当 東建地質調査株式会社名古屋支店
主任技術者 山 田 敬 二

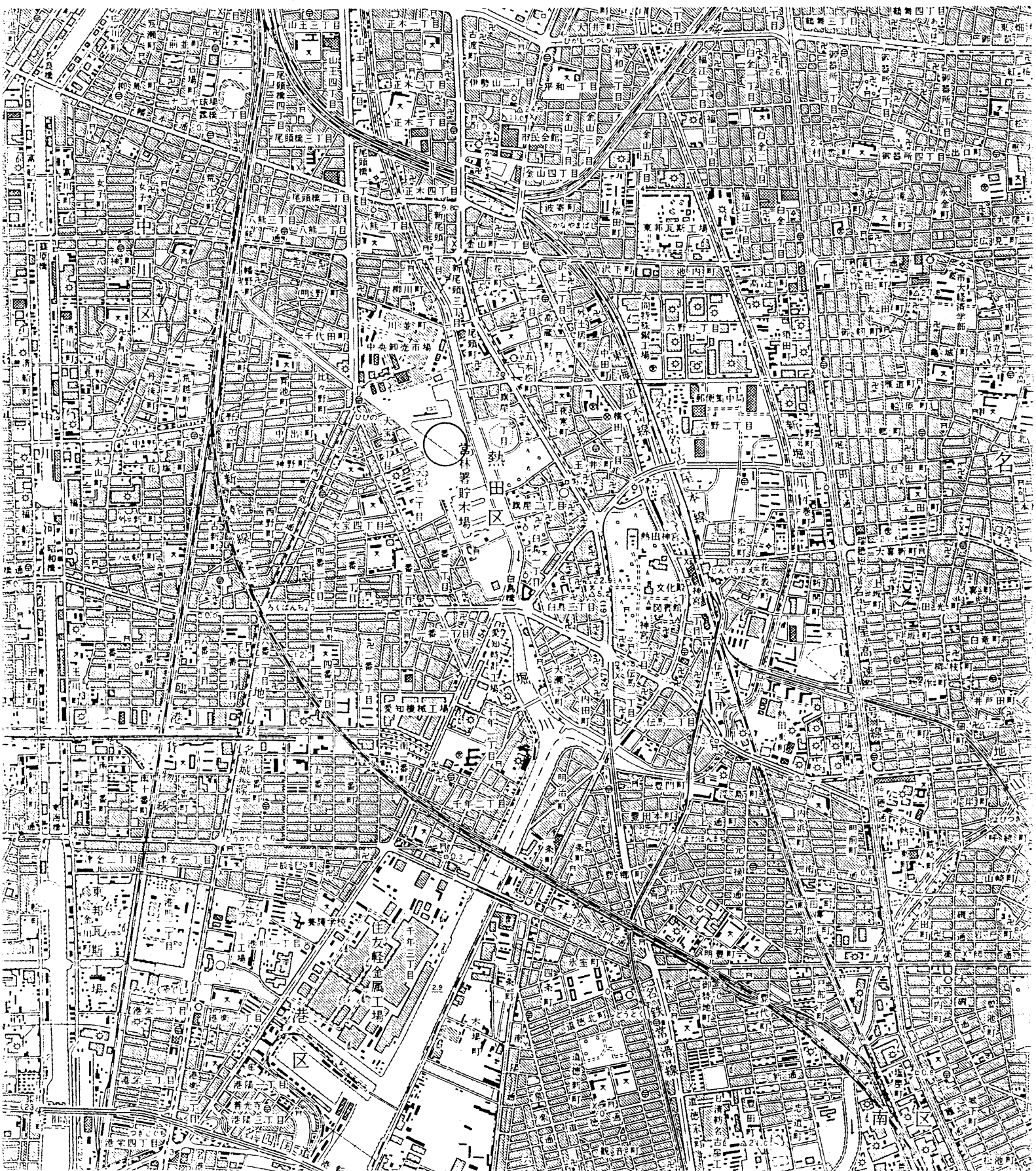


図 1-1 調査地案内図 縮尺 1/25,000

凡 例

0 500 1000 m

○ 調査地

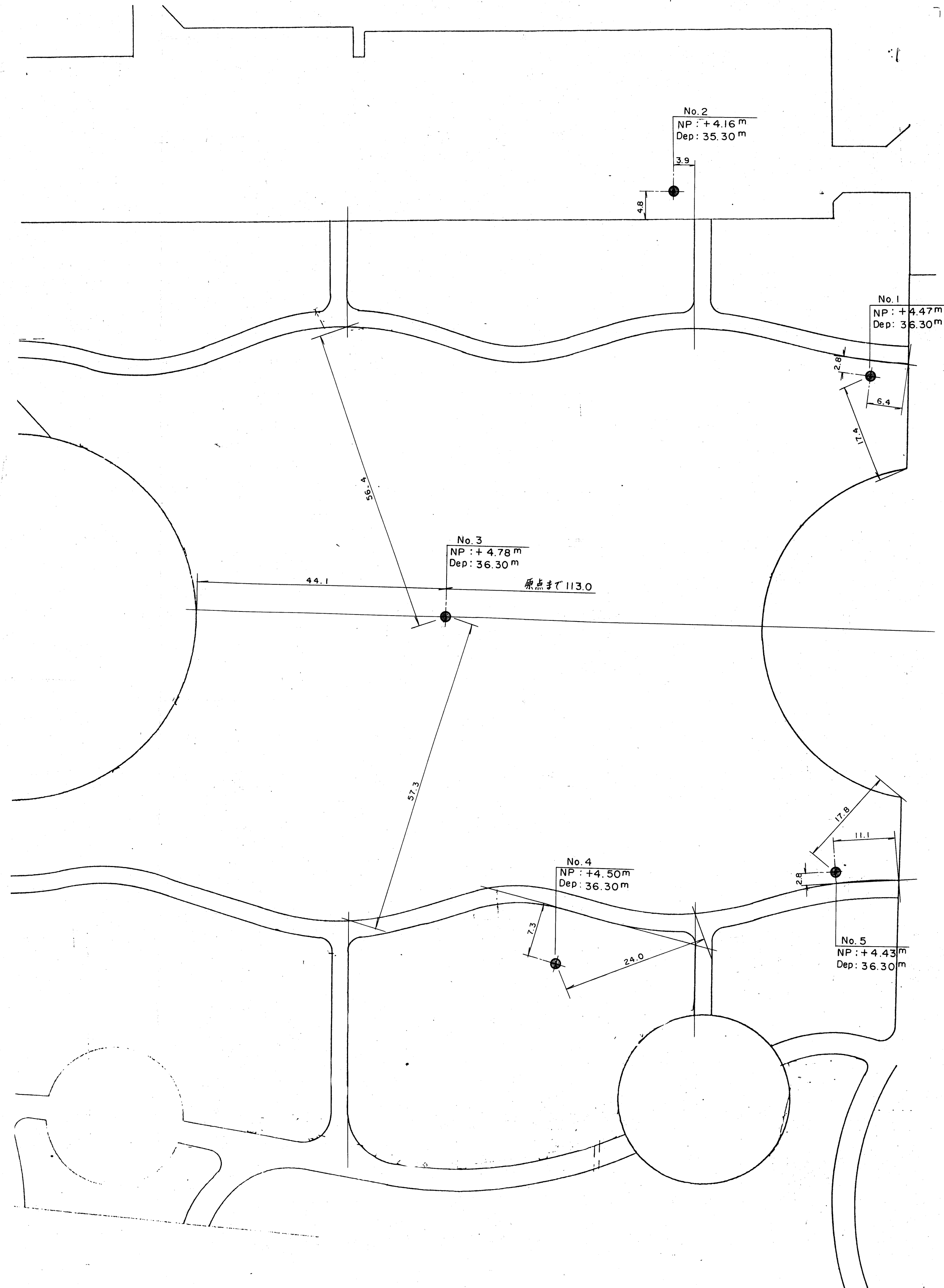
この地図は、国土地理院発行の 2.5 万分の 1 地形図「名古屋南部」を使用したものである。

付圖-1 調查地點位置圖

詳細位置図 縮尺 1/500

凡例

● ポーリング位置

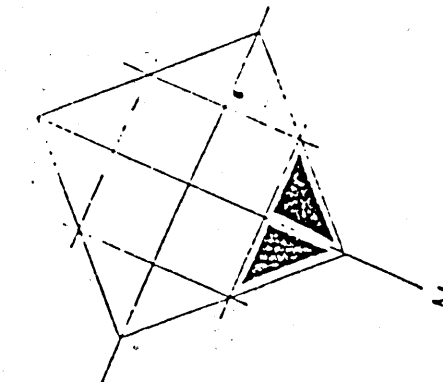
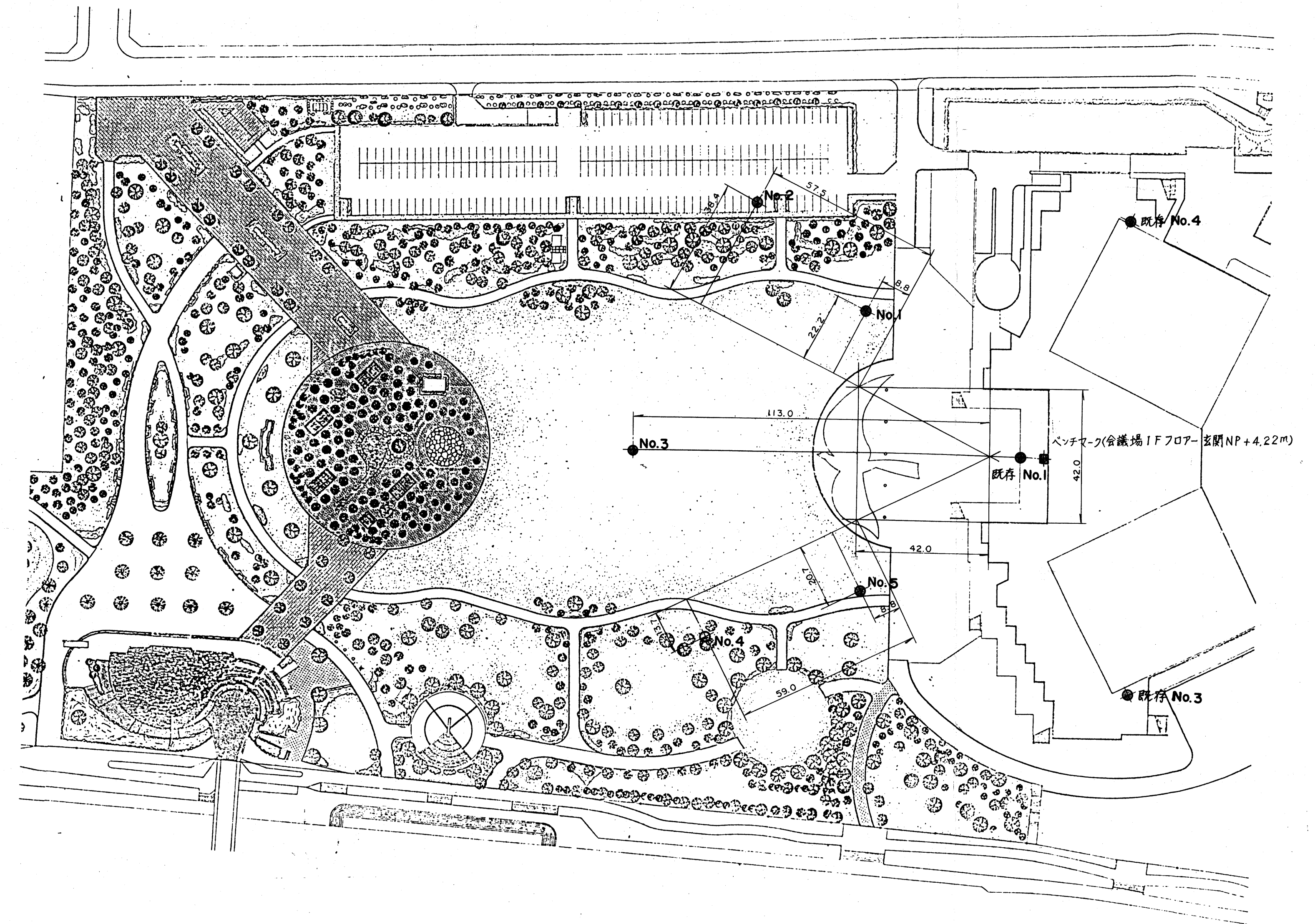


位置圖 縮尺 1/1000

凡例

● ボーリング位置

■ ベンチマーク位置



図面 名称	名古屋国際会議場 第2期整備地盤調査委託 付図-1 調査地点位置図	
図面 番号	全3葉の内 1号	詳細位置図 1/500 位置図 1/1000
製作年月	平成3年9月	
製作	東建地質調査株式会社	

土質柱状図 (No.1)

調査名 名古屋国際会議場第2期整備地盤調査委託

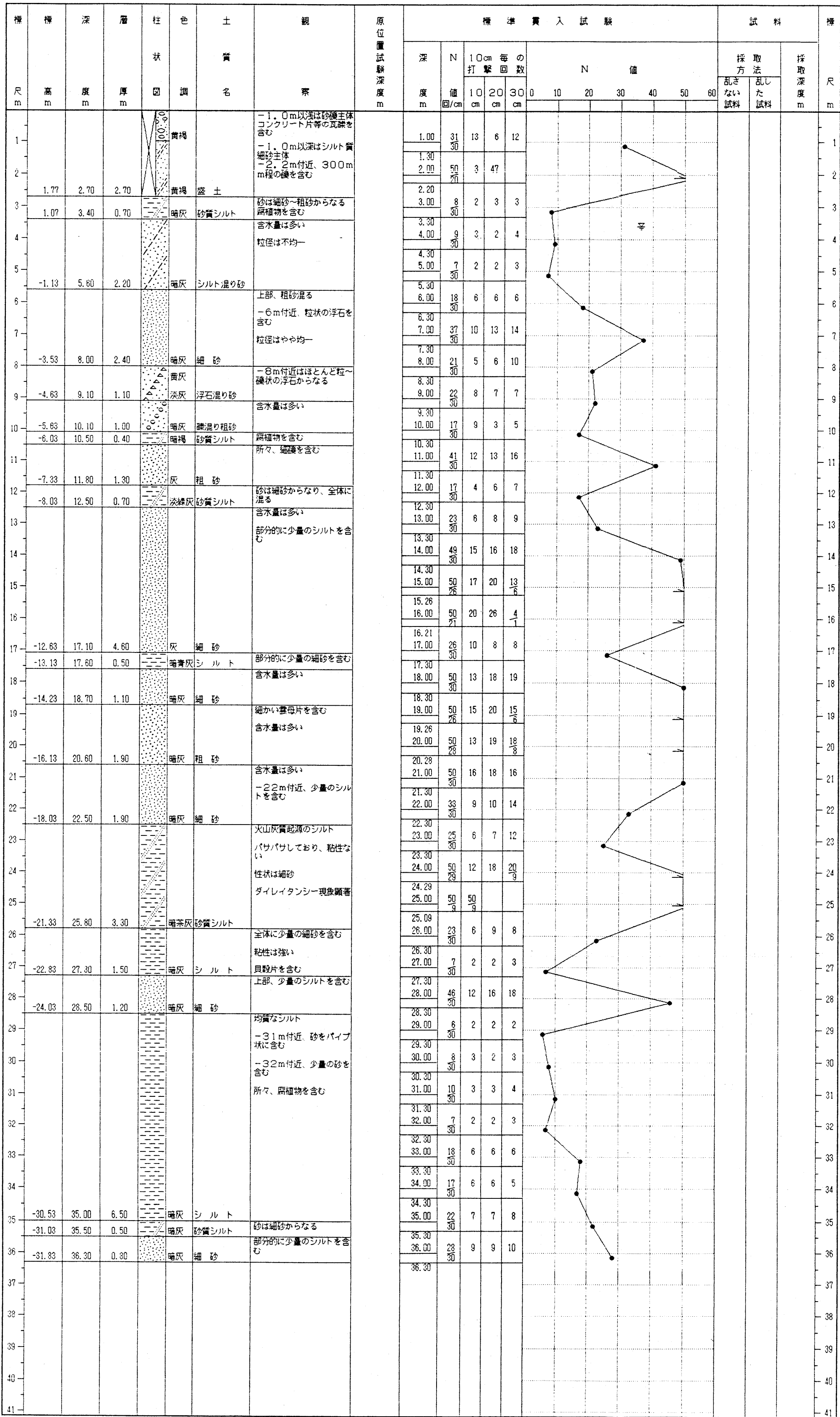
調査地 名古屋市熱田区熱田西町1番1号

調査年月日 平成3年9月6日～3年9月10日

標高 NP +4.47 m

孔内水位 GL -3.60 m

技術者 伊東巳徳



土質柱状図 (No.2)

調査名 名古屋国際会議場第2期整備地盤調査委託

調査地 名古屋市熱田区熱田西町1番1号

調査年月日 平成3年9月10日～3年9月12日

標高 NP +4.16 m

孔内水位 GL -2.10 m

技術者 伊東巳徳

標尺 m	標高 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	色 調	土 質 名	観 察	原 位 置 試 験 深 度 m	標準貫入試験										試料		標尺 m		
									深 度 m	N 値 回/cm	10cm 毎の 打撃回数			N 値						採取 方法			
											10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40	50	60		乱さ ない 試料	乱し た 試料
1					暗褐	暗灰	上部1.3mはシルト混り砂礫主体礫量に偏りがある瓦礫を含む		1.00	5/30	2	1	2										1
2	1.46	2.70	2.70		暗褐	暗灰	-1.3m以深はシルト混り砂礫主体		1.30	8/30	2	3	3										2
3	0.46	3.70	1.00		暗灰	シルト	全体に少量の砂を含む腐植物を含む		2.30	5/32	2	1	2										3
4					暗灰	シルト混り砂	含水量は多い 粒径は不均一		3.32	10/30	4	3	3										4
5	-0.94	5.10	1.40		暗灰	シルト混り砂	上部、細砂多い		4.30	15/30	3	3	9										5
6					暗灰		-6及び-8m付近、粒状の浮石を含む		5.30	33/30	9	11	13										6
7					暗灰				6.30	29/30	7	9	13										7
8	-4.24	8.40	3.30		暗黄灰	砂			7.30	31/30	9	10	12										8
9	-5.44	9.60	1.20		暗黄灰	礫混り粗砂	礫径2〜20mm程度		8.30	35/30	9	11	15										9
10					灰		含水量は多い 下部、細礫を多く含む		9.30	29/30	8	9	12										10
11	-7.04	11.20	1.60		暗黄灰	粗砂	砂は細砂からなる少量の腐植物を含む		10.30	15/30	5	5	5										11
12	-7.84	12.00	0.80		灰	砂質シルト	含水量は多い		11.30	18/30	6	6	6										12
13	-8.34	12.50	0.50		灰	シルト混り細砂	細かい雲母片を含む		12.30	46/28	13	20	13										13
14					灰		-1.4m付近、粗砂多い		13.28	50/28	15	20	15										14
15	-11.54	15.70	3.20		灰	細砂			14.28	43/30	12	15	16										15
16	-12.34	16.50	0.80		灰	シルト混り細砂	所々、シルトの薄層を挟む		15.30	25/30	8	8	9										16
17					暗灰		細かい雲母片を含む		16.30	50/28	10	17	23										17
18					暗灰		部分的に粗砂を多く含む		17.28	50/26	14	17	19										18
19					暗灰		-1.9m付近、少量のシルトを含む		18.26	37/30	10	10	17										19
20					暗灰				19.30	44/30	12	14	18										20
21	-17.14	21.30	4.80		暗灰	細砂			20.30	48/30	14	15	19										21
22					暗灰		火山灰質起源のシルト		21.30	29/30	9	10	10										22
23					暗灰		バサバサしており、粘性ない		22.30	48/30	14	15	19										23
24					暗灰		ダイレイタンシー現象顕著		23.30	50/21	17	28	5										24
25	-21.54	25.70	4.40		暗茶灰	砂質シルト	性状は細砂		24.21	50/19	19	31	9										25
26	-22.24	26.40	0.70		暗灰	シルト	粘性は強い 貝殻片を含む		25.19	21/30	5	5	11										26
27					暗灰		-2.7.7m、シルトの薄層を挟む		26.30	50/23	21	22	7										27
28	-24.14	28.30	1.90		灰	細砂	下部、少量のシルトを含む		27.23	50/29	20	14	16										28
29					暗青灰	シルト	均質なシルト		28.29	9/30	3	3	3										29
30					暗灰		部分的に細砂をパイプ状に含む		29.30	10/30	3	3	4										30
31	-27.14	31.30	3.00		暗青灰	シルト	-3.1m付近、少量の細砂を全体に含む		30.30	18/30	6	6	6										31
32	-28.44	32.60	1.30		灰	砂	所々、細礫を含む		31.30	50/25	14	22	14										32
33					灰		礫径2〜5mm程度		32.25	50/14	37	13	4										33
34	-30.34	34.50	1.90		灰	礫混り粗砂	含水量は多い		33.14	50/25	11	26	13										34
35	-31.04	35.20	0.70		灰	粗砂	所々、細礫を含む		34.25	40/30	20	13	7										35
36					灰	砂質シルト	砂は細砂からなる		35.30														36
37																							37
38																							38
39																							39
40																							40
41																							41

土質柱状図 (No.3)

調査名 名古屋国際会議場第2期整備地盤調査委託

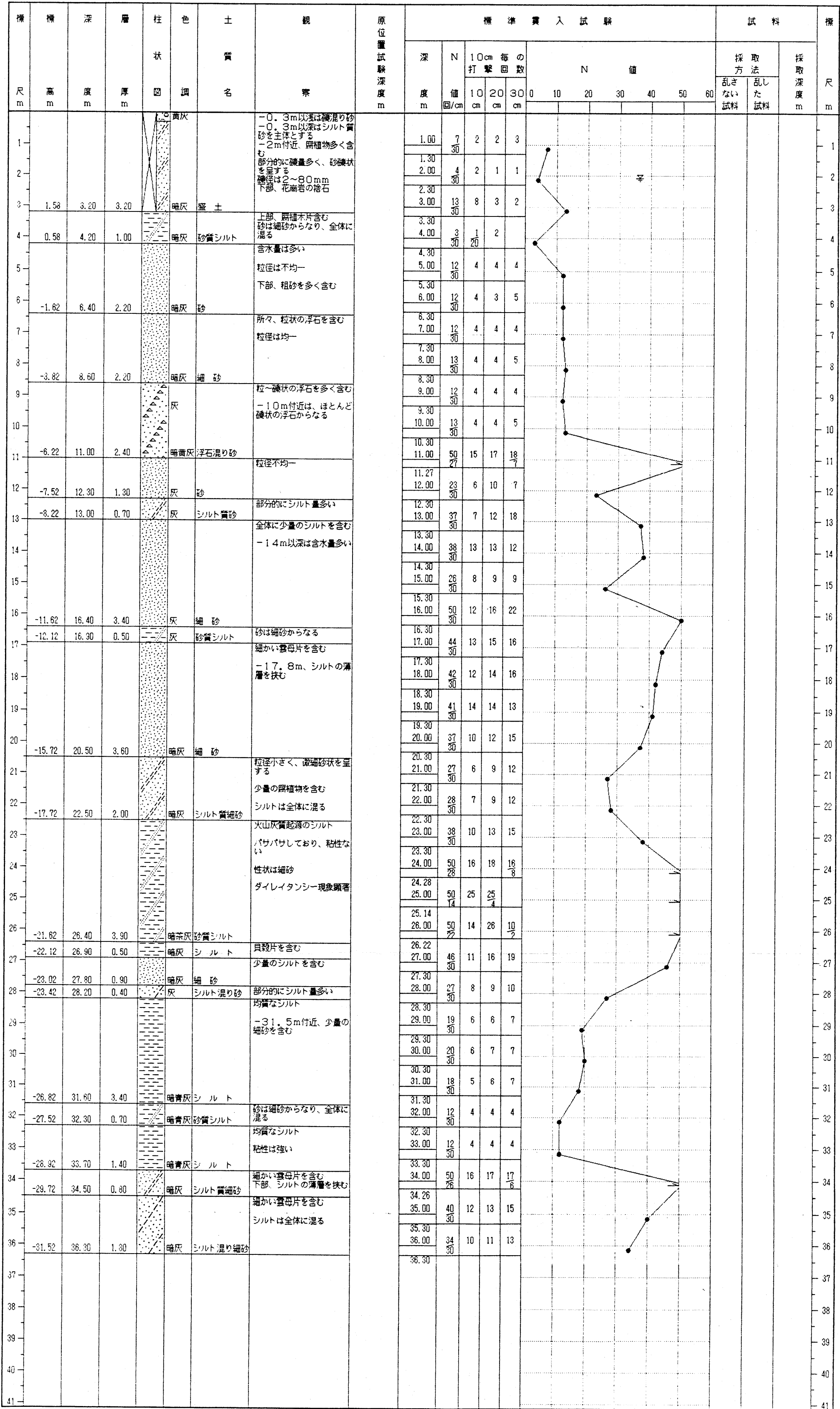
調査地 名古屋市熱田区熱田西町1番1号

調査年月日 平成3年9月13日～3年9月19日

標高 NP +4.78 m

孔内水位 GL -2.10 m

技術者 高瀬孝之



土質柱状図 (No.4)

調査名 名古屋国際会議場第2期整備地盤調査委託

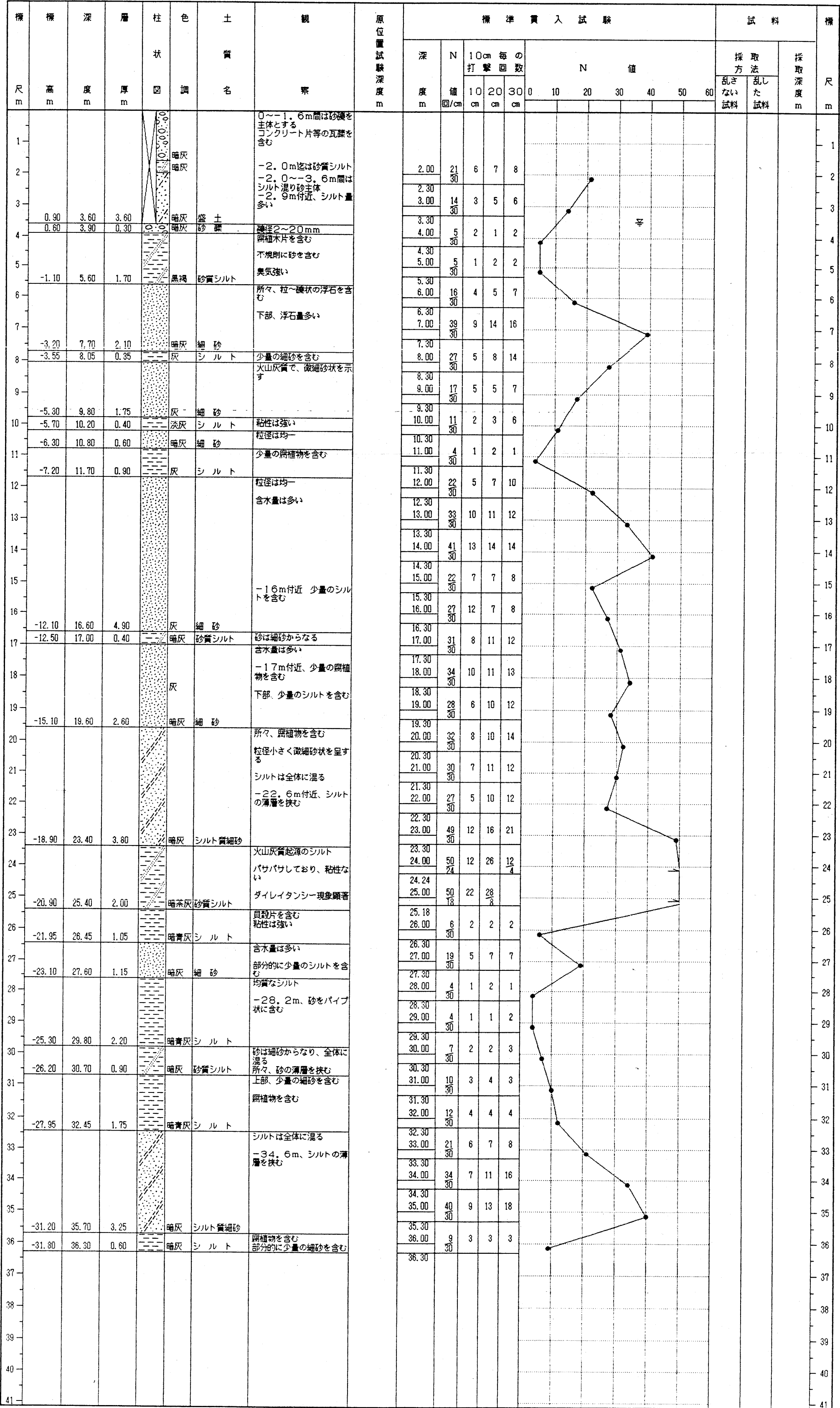
調査地 名古屋市熱田区熱田西町1番1号

調査年月日 平成3年9月6日～3年9月10日

標高 NP +4.50 m

孔内水位 GL -3.50 m

技術者 安藤光人



土質柱状図 (No.5)

調査名 名古屋国際会議場第2期整備地盤調査委託

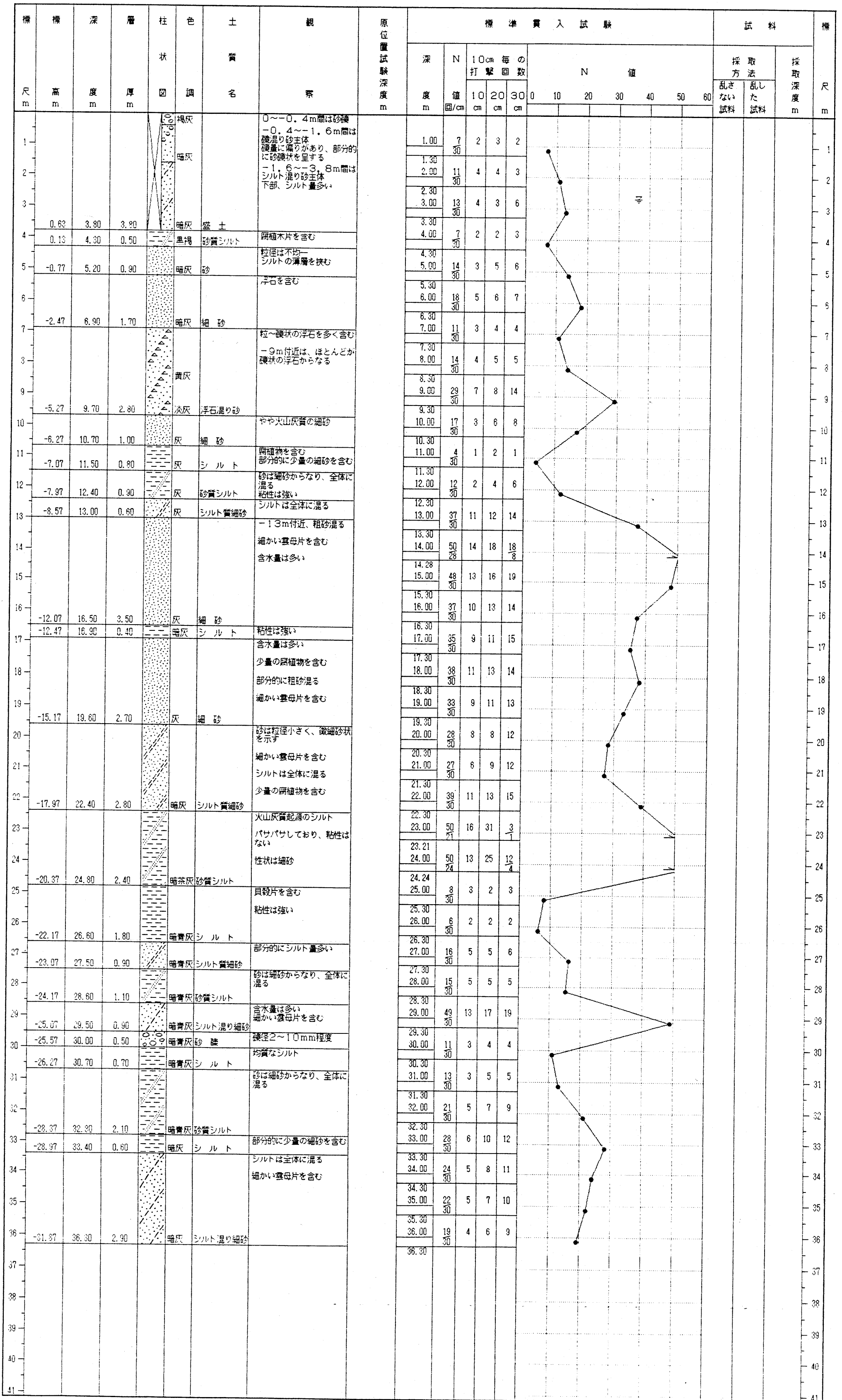
調査地 名古屋市熱田区熱田西町1番1号

調査年月日 平成3年9月6日～3年9月10日

標高 NP +4.43 m

孔内水位 GL -2.70 m

技術者 浜田泰治

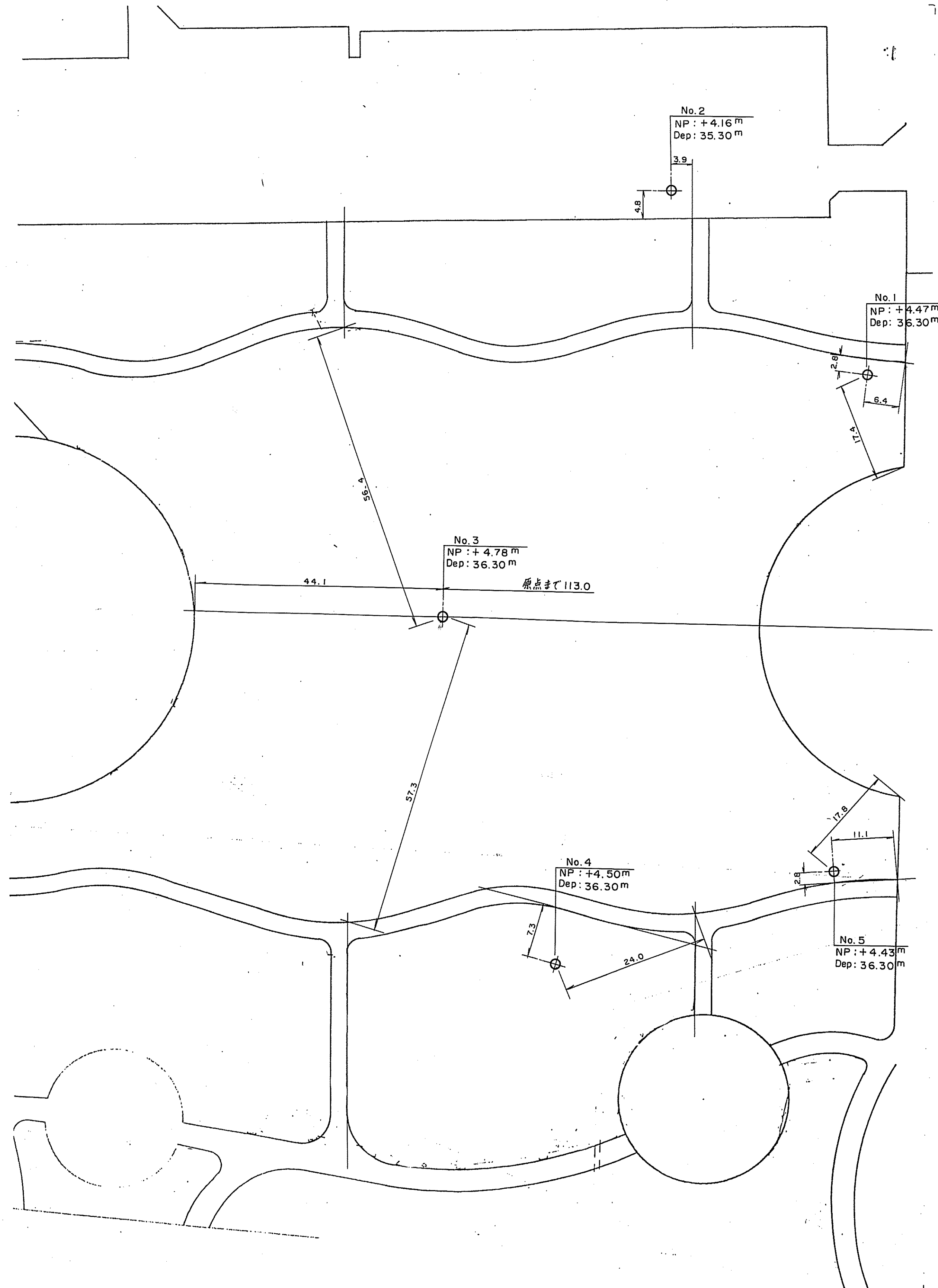


付図-1 調査地点位置図

詳細位置図 縮尺 1/500

凡例

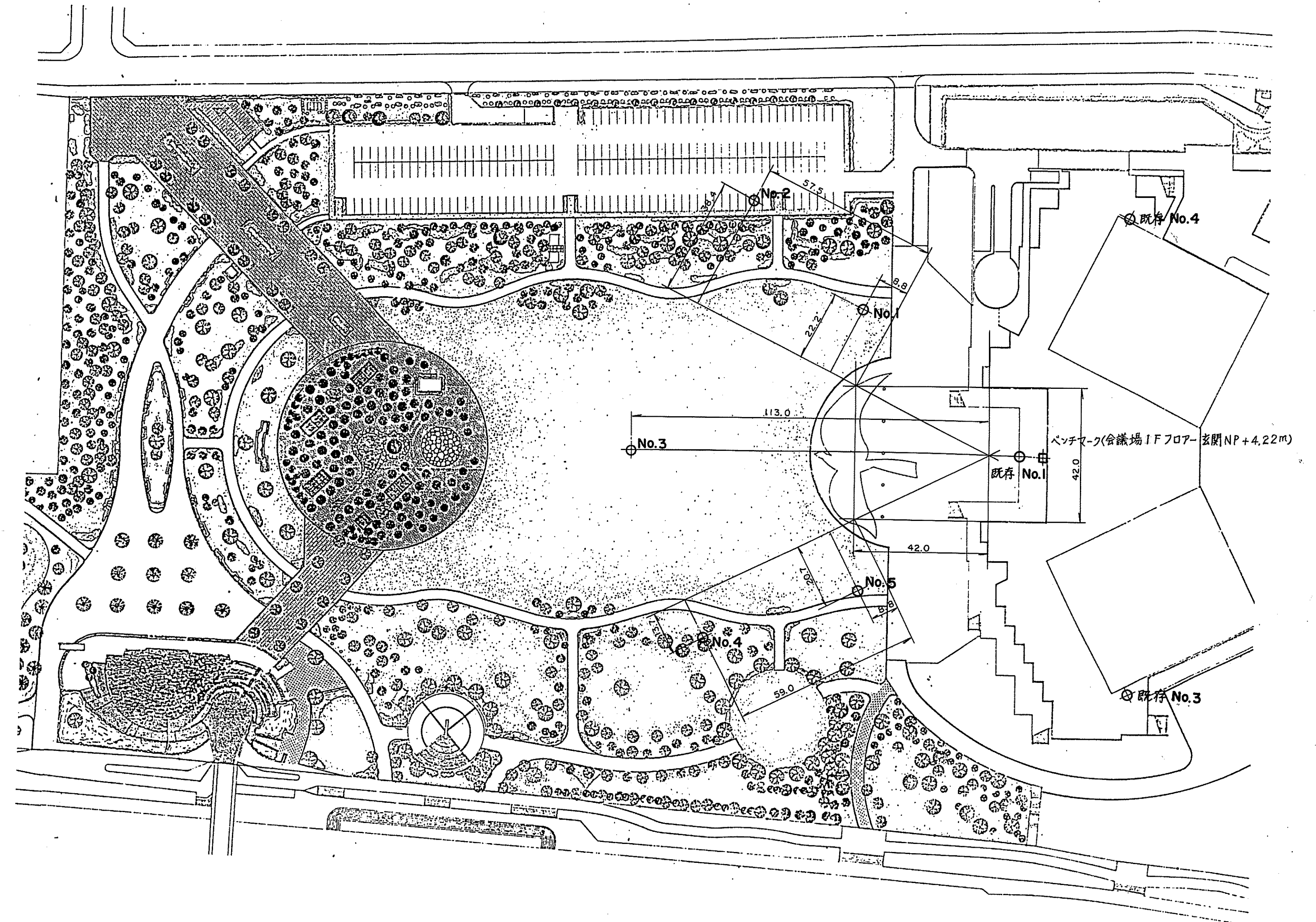
⊕ ボーリング位置



位置図 縮尺 1/1000

凡例

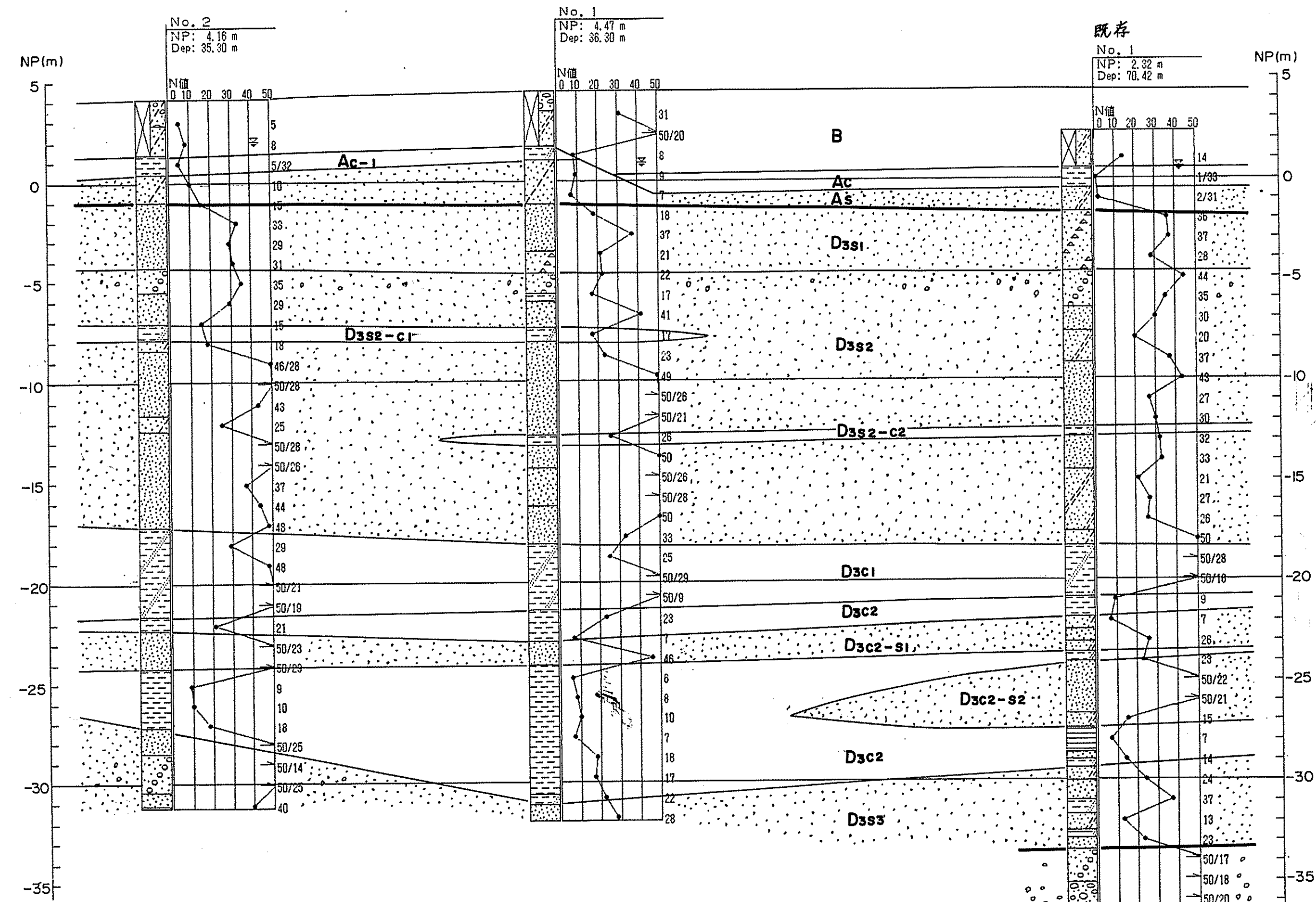
⊕ ボーリング位置
⊕ ベンチマーク位置



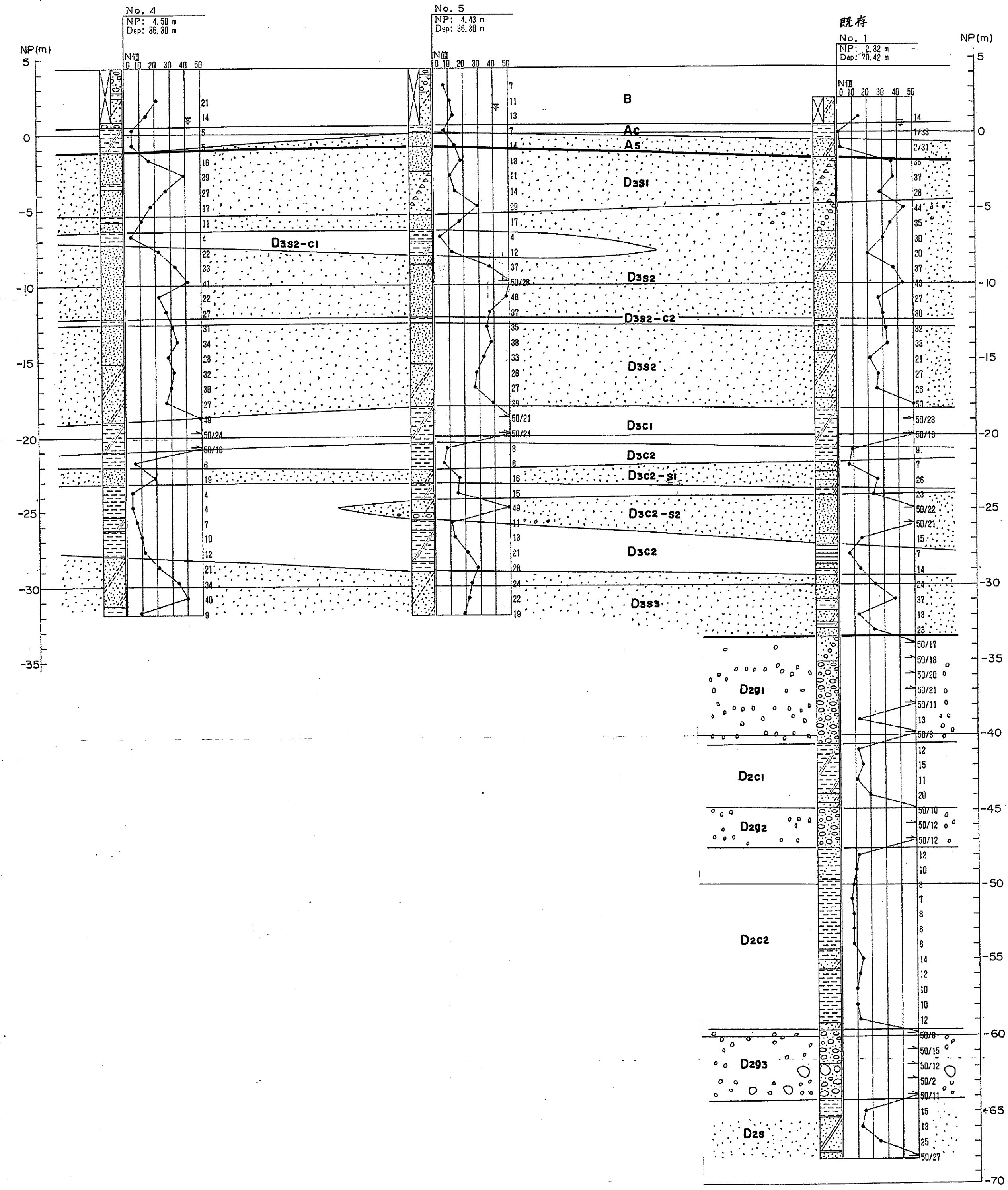
図面名称	名古屋国際会議場 第2期整備地盤調査委託 付図-1 調査地点位置図		
図面番号	全3葉の内 1号	縮尺	詳細位置図 1/500 位置図 1/1000
製作年月	平成3年9月		
製作	東建地質調査株式会社		

付図-2 土層断面図

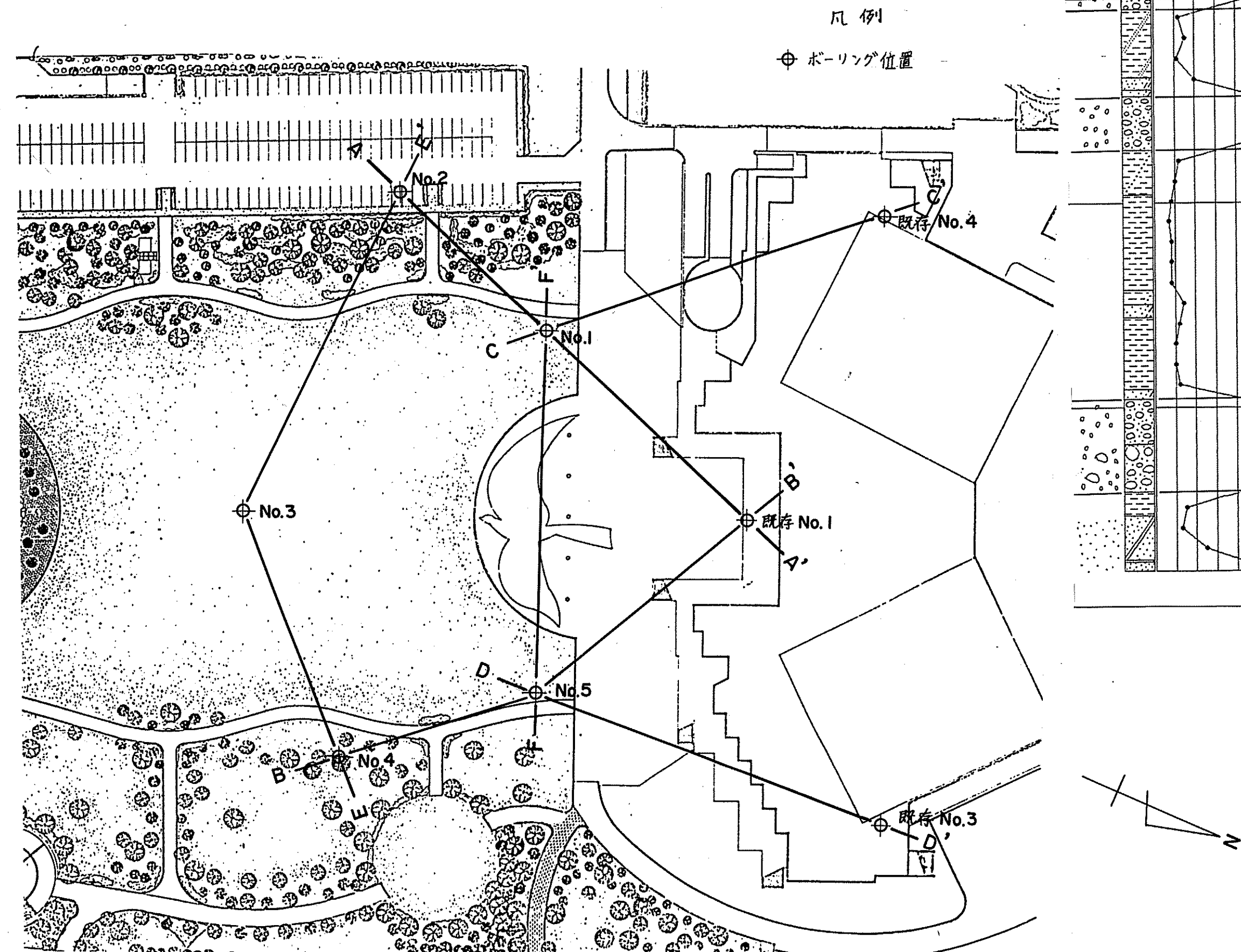
A-A' 断面図



B-B' 断面図



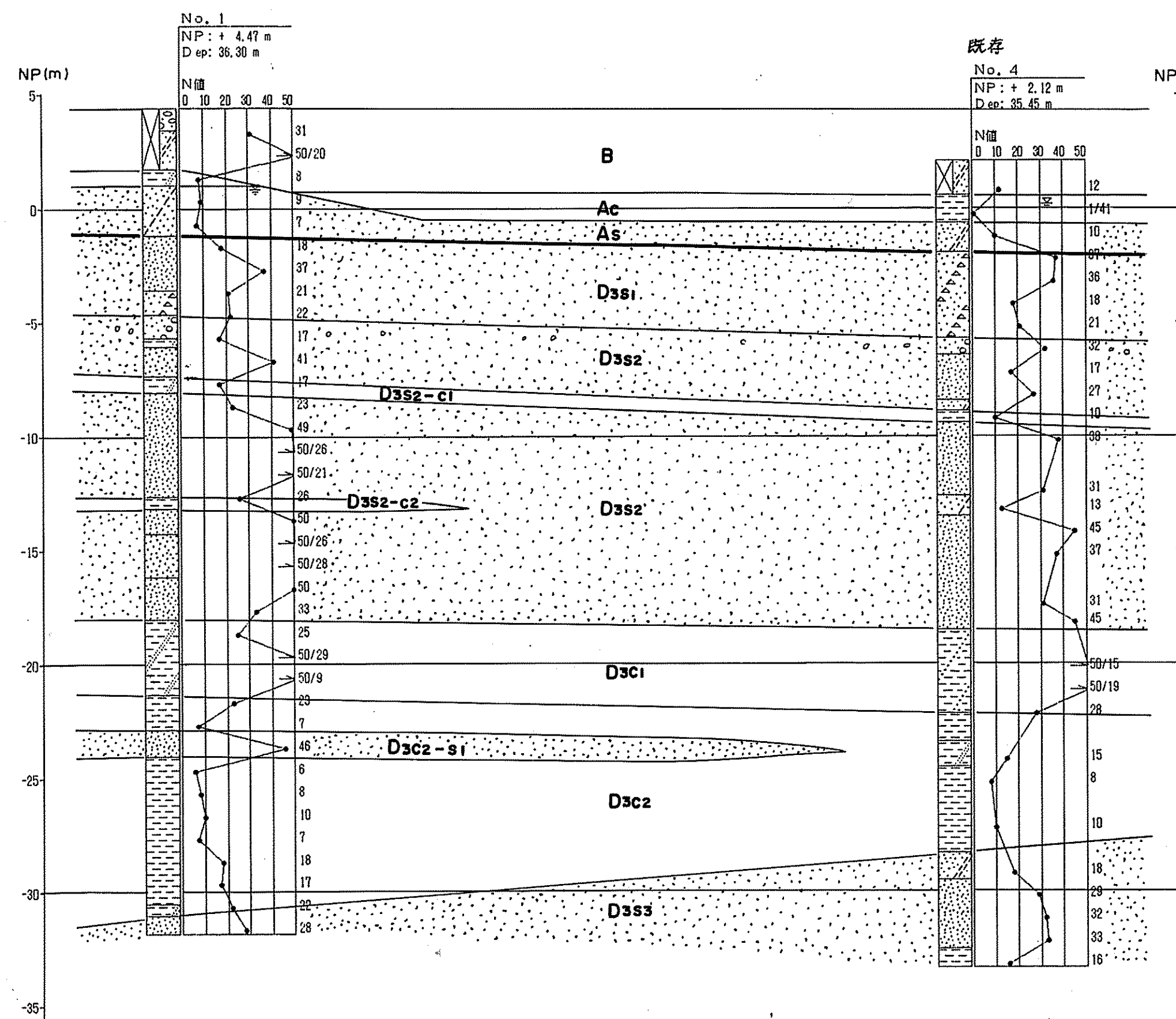
断面位置図 縮尺 1/1000



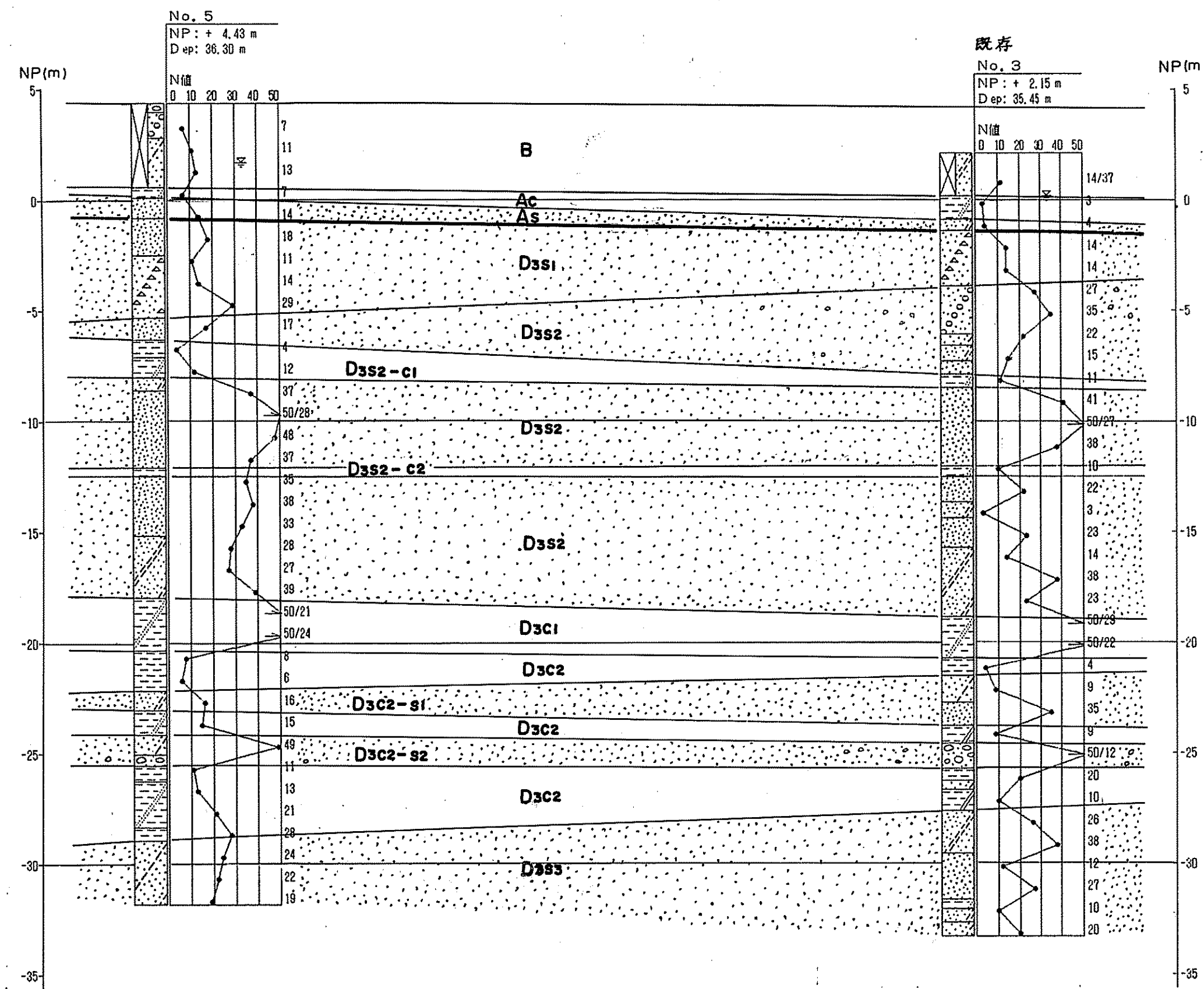
図面名称	名古屋国際会議場 第2期整備地盤調査委託 付図-2 土層断面図		
図面番号	全3葉の内 2号	縮尺	断面図 縦1/200横1/500 断面位置図 1/1000
製作年月	平成3年9月		
製作	東建地質調査株式会社		

付図-3 土層断面図

C-C' 断面図



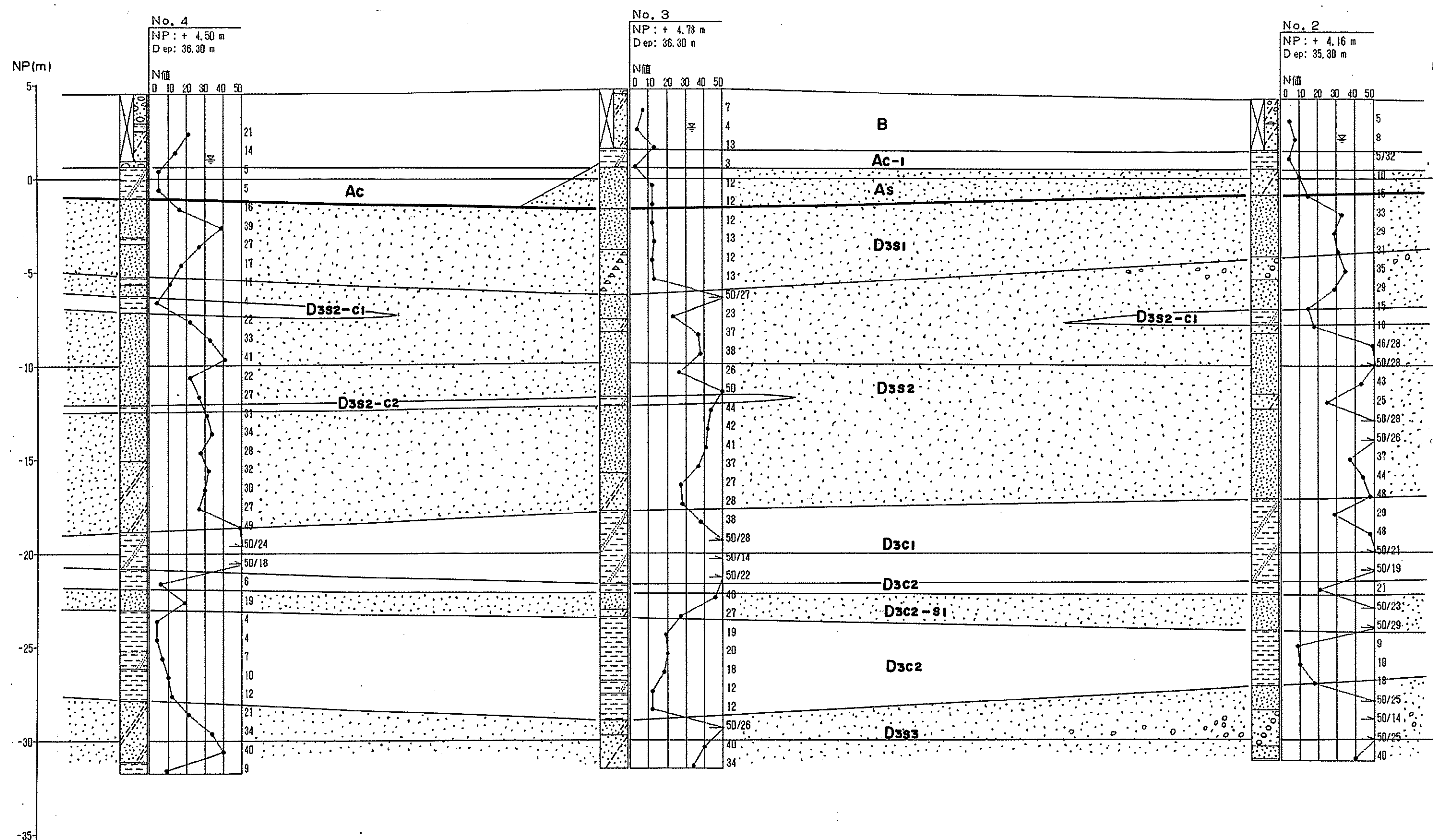
D-D' 断面図



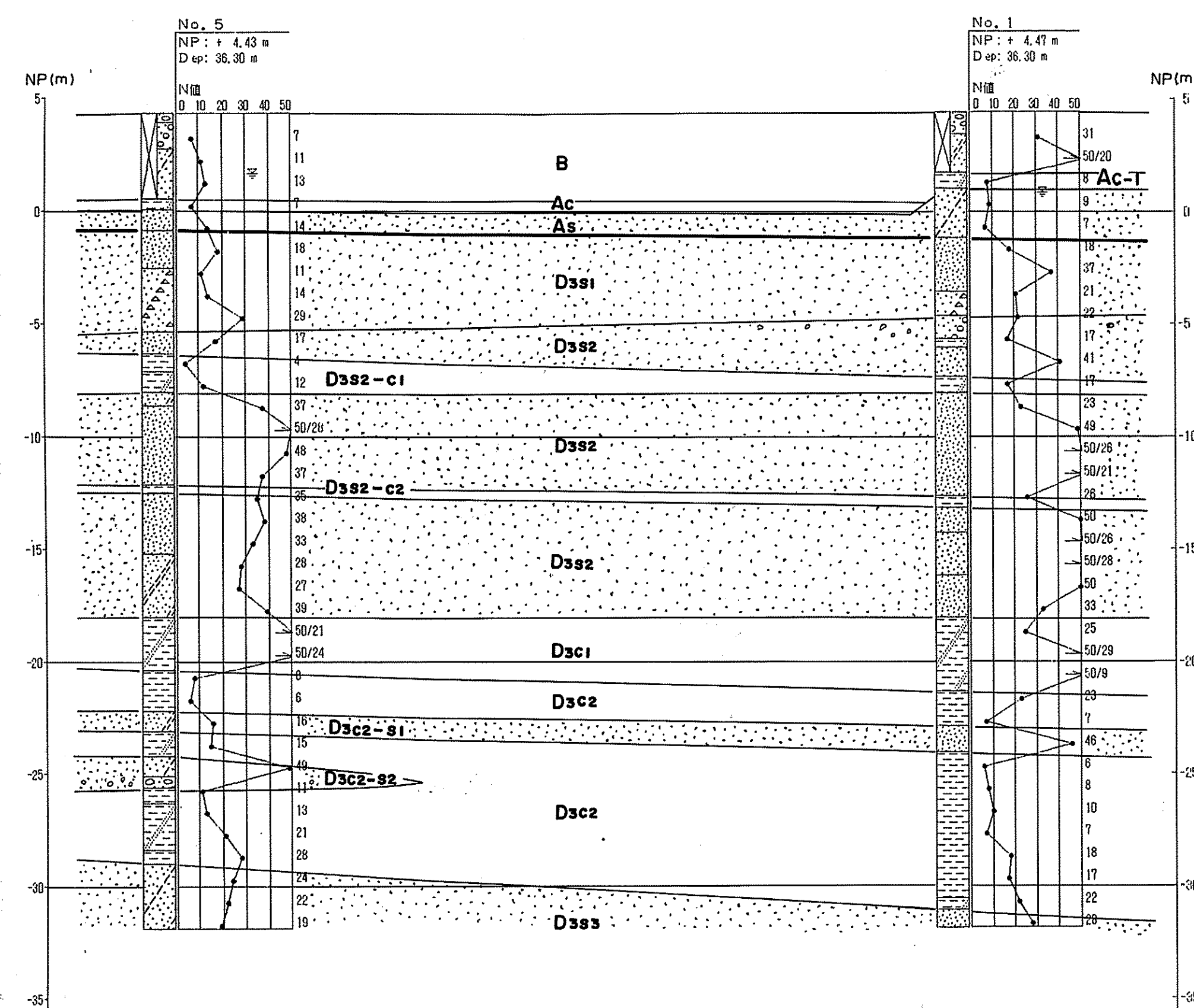
凡 例

時代	地層名	土層記号	土層名	記 号
第四紀 沖積世	沖積層	B	盛土	上部は砂礫主体で、下層はシルト混り砂主体。 NP+1m前後に分布する。旧水田を形成する粘性土層で、シルトをいれ砂質シルトが5なる。 NP±0m付近に分布する粘性土層。旧池の堆積物である腐植土片を含む。腐植土片がある。含水層多し。砂質土層は5なる。 NP+12~13m付近にシルト状として分布する。シルト～砂質シルトが5なる。薄層であるが連続性は良い。 火山灰質起源のシルトが5なる。粘性は無い。バサバサしており、グレイランシー現象は顕著である。 熱田層下部に相当する粘性土層で上部は貝殻片下部は腐植物を含む。シルト～砂質シルトが5なる。 NP+23m付近にシルト状として分布する。細砂が主体とし、比較的連続性は良い。 NP+25m付近にシルト状として分布する。細砂及び砂礫が主体とする。 シルト質細砂が砂礫混り粗砂まで分布し土質変化が激しい。砂質、シルトの層を挟む。
		Ac-1	粘性土層	
		Ac	粘性土層	
第四紀 洪積世	熱田層	As	砂質土層	Dss1 砂質土層 (海石混り) Dss2 砂質土層 Dss2-c1 粘性土層 (レンズ状) Dss2-c2 粘性土層 (レンズ状) Dsc1 粘性土層 Dsc2 粘性土層 Dsc2-s1 砂質土層 (レンズ状) Dsc2-s2 砂質土層 (レンズ状) Dss3 砂質土層
		Dss1	砂質土層	
		Dss2	砂質土層	
		Dss2-c1	粘性土層	
		Dss2-c2	粘性土層	
		Dsc1	粘性土層	
		Dsc2	粘性土層	
		Dsc2-s1	砂質土層	
		Dsc2-s2	砂質土層	
		Dss3	砂質土層	
八 幸 層		D2g1	砂礫層	(既存資料)
		D2c1	粘性土層	
		D2g2	砂礫層	
		D2c2	粘性土層	
		D2g3	砂礫層	
		D2s	砂質土層	

E-E' 断面図



F-F' 断面図



柱状図記号	
	盛土
	粘土
	シルト
	砂
	砂礫
	粘土混り
	粘土質
	シルト混り
	シルト質
	砂混り
	砂質
	礫混り
	浮石混り

図面 名称	名古屋国際会議場 第2期整備地盤調査委託 付図-3 土層断面図		
図面 番号	全3葉の内 3号	縮 尺	断面図 縦 1/200 横 1/500
製作年月	平成3年9月		
製作	東建地質調査株式会社		